

4 市町村保険者に係る保険料(税)の状況

(1) 調定の状況

平成 28(2016)年度における保険税の現年度分調定額は、529 億 9,136 万 5 千円で前年度より 14 億 3,840 万 7 千円(対前年度比 2.6%)減となっている。

また、1世帯当たりの調定額は 17 万 3,516 円で前年度より 715 円(対前年度比 0.4%)減となっており、1人当たりの調定額は、10 万 860 円で前年度より 1,566 円(対前年度比 1.6%)増となっている。

なお、調定額ベースでの平均賦課割合(医療給付費分)は、応能:応益=52.82:47.18 であり、応益割が前年度より 0.41 ポイント減となっている。

(2) 収納の状況

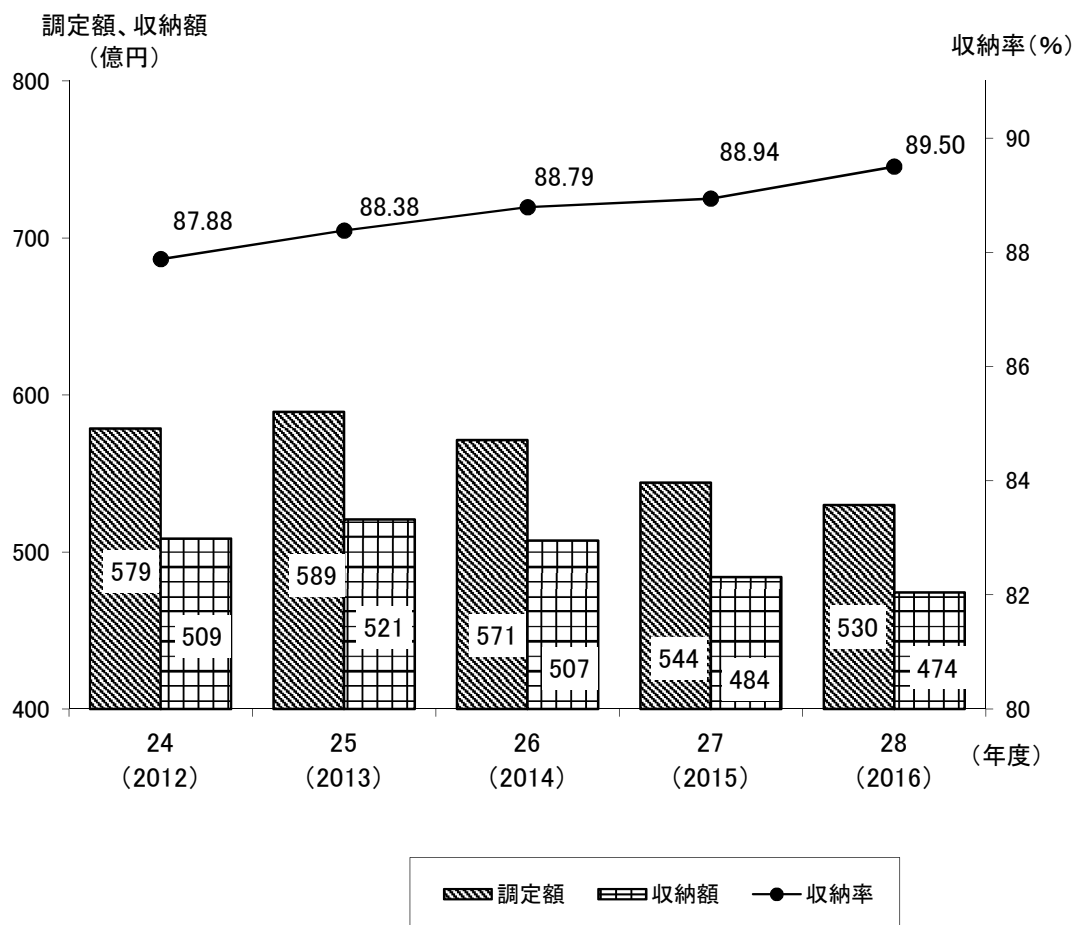
平成 28(2016)年度における保険税の収納額は、517 億 1,553 万 7 千円で、12 億 5,556 万 7 千円(対前年度比 2.4%)減となっている。

その内訳は、現年度分が 474 億 2,515 万 6 千円で前年度より 9 億 8,225 万 4 千円(対前年度比 2.0%)減、滞納繰越分が 42 億 9,038 万 1 千円で、2 億 7,331 万 3 千円(対前年度比 6.0%)減となっている。

また、現年度分の1世帯当たりの収納額は 15 万 5,290 円で、337 円(対前年度比 0.2%)増となっており、1人当たりの収納額は、9 万 266 円で、1,959 円(対前年度比 2.2%)増となっている。

なお、収納率は合計が 71.21%で前年度より 1.07 ポイント増となり、現年度分が 89.50%で前年度より 0.56 ポイント増となっている。

図4 保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村、現年度分)



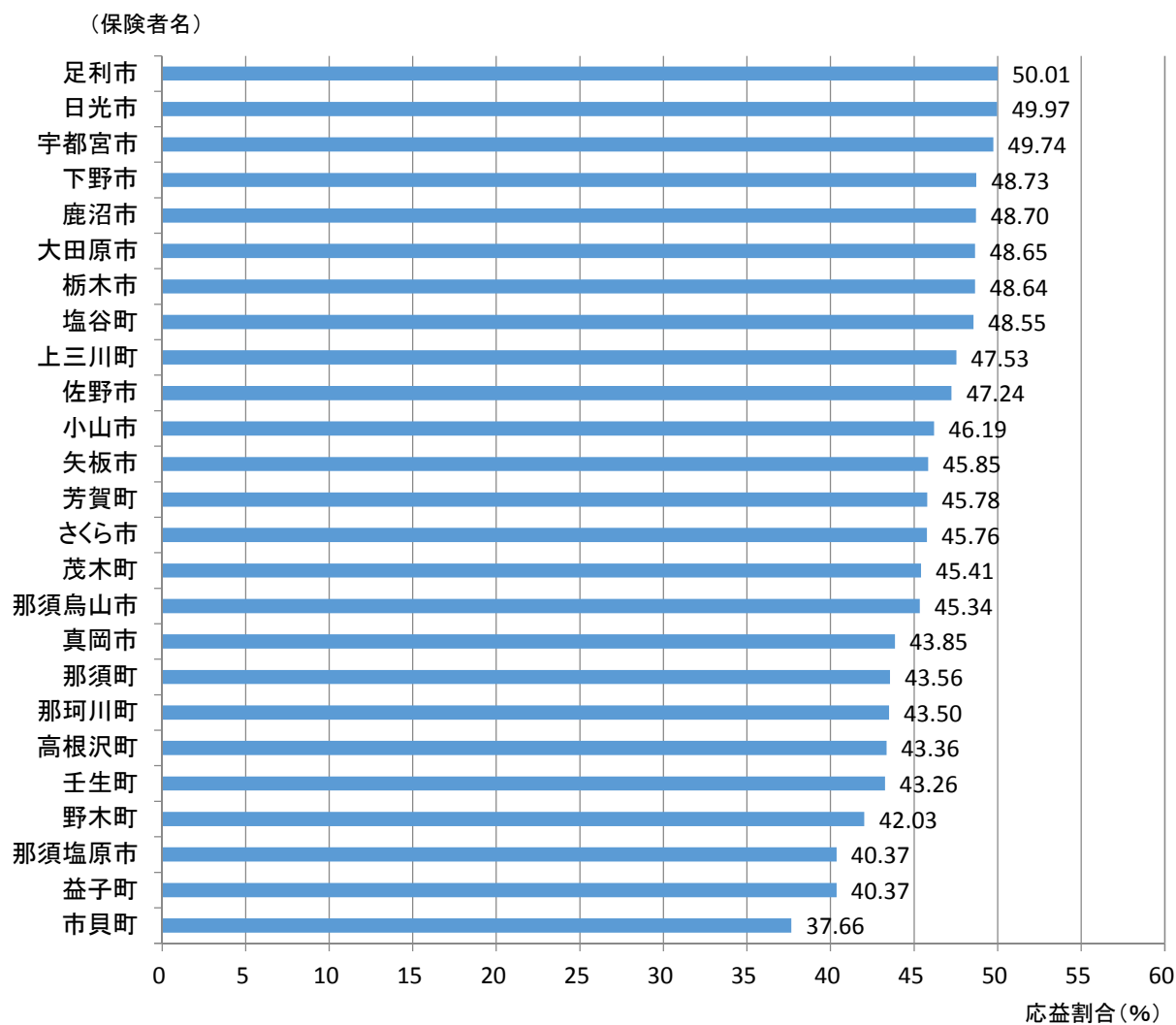
保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村)

(単位:千円、%)

年度	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)
収納額	56,030,040	57,075,882	55,451,537	52,971,104	51,715,537
現年度分					
調定額	57,874,263	58,928,855	57,123,615	54,429,772	52,991,365
収納額	50,857,312	52,078,941	50,721,489	48,407,410	47,425,156
収納率	87.88	88.38	88.79	88.94	89.50
1世帯当たり(現年度) (単位:円)					
調定額	176,333	179,426	179,620	174,231	173,516
収納額	154,954	158,569	159,490	154,953	155,290
1人当たり(現年度) (単位:円)					
調定額	98,379	101,967	100,888	99,294	100,860
収納額	86,451	90,114	89,581	88,307	90,266

※調定額は居所不明者分調定額を含む。

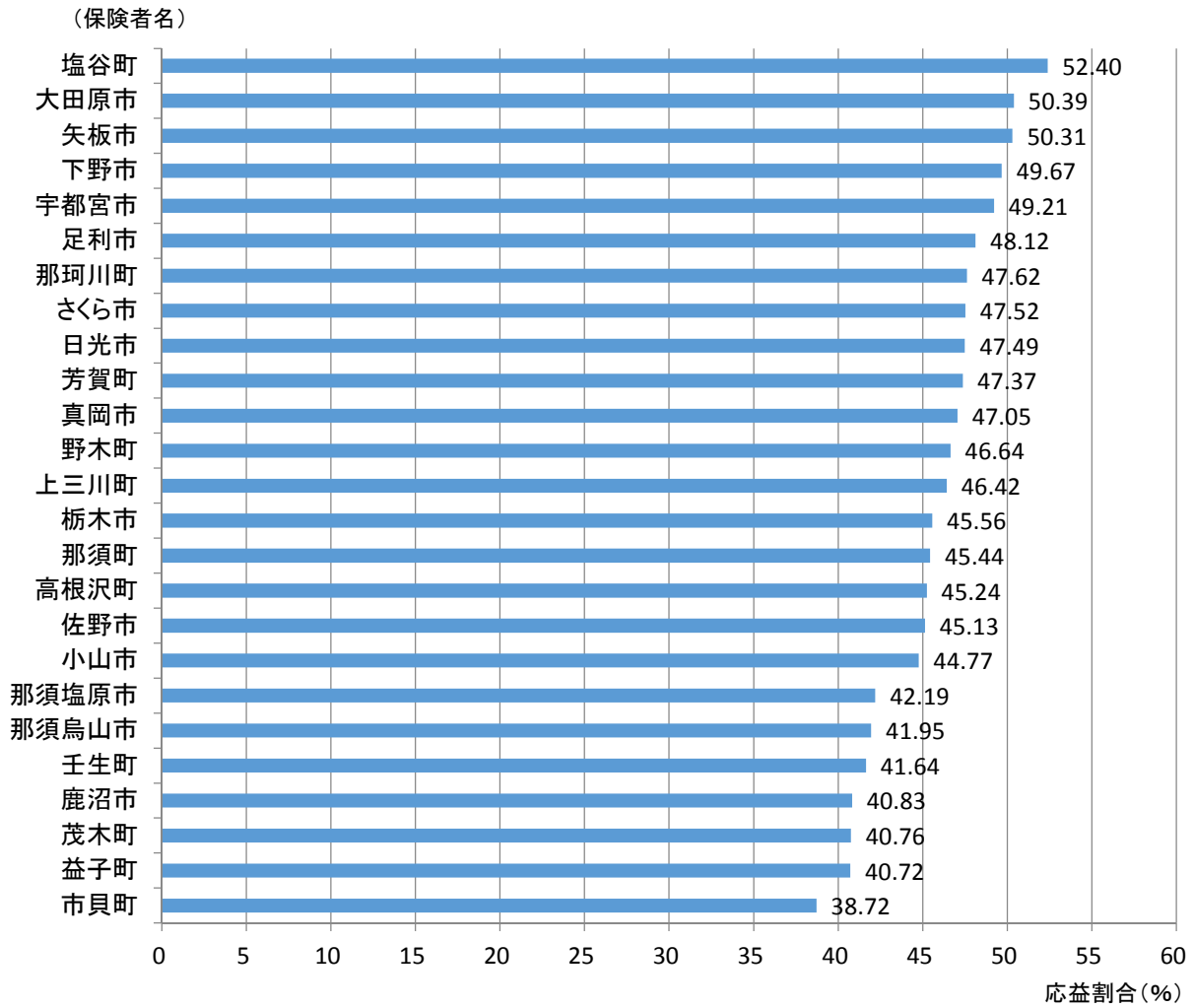
図5 保険者別応益割合の状況(市町村、医療給付費分)



※賦課割合(調定ベース)の応益割合の計算式:

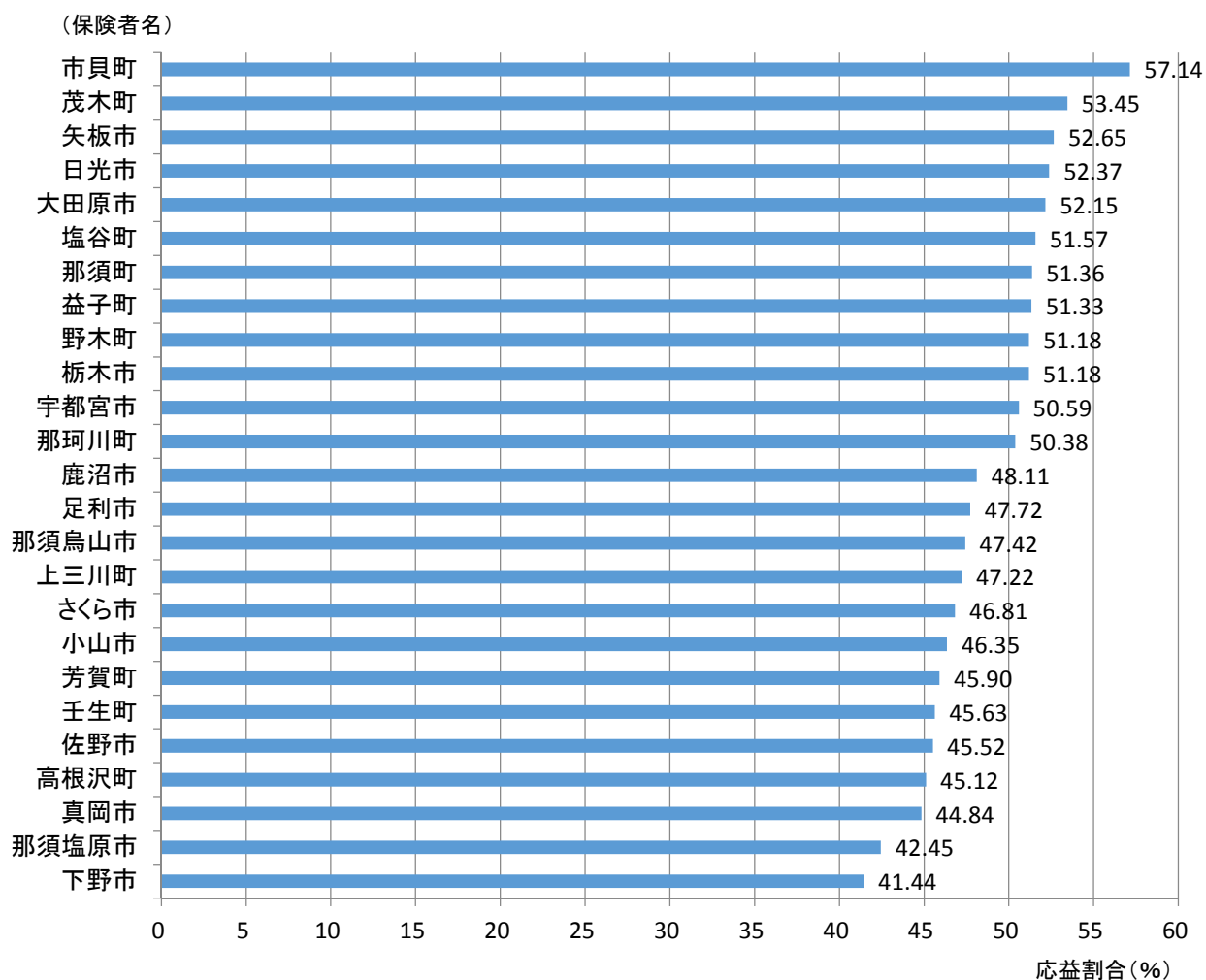
$$\frac{\text{均等割} + \text{平等割}}{\text{算定額計} - \text{賦課限度額}}$$
 一般被保険者分の算定額から計算

図6 保険者別応益割合の状況(市町村、後期高齢者支援金分)



※賦課割合(調定ベース)の応益割合計算式:
 (均等割+平等割) / (算定額計-賦課限度額)
 一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算

図7 保険者別応益割合の状況(市町村、介護納付金分)



※賦課割合(調定ベース)の応益割合の計算式:
 (均等割+平等割) / (算定額計-賦課限度額)
 一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算